

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 鹿児島県
3. 交付金事業の実施場所 鹿児島県

4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（鹿児島県立鹿児島盲学校）
モバイルソーラーユニット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

- ・九州電力川内原子力発電所展示館の見学（鹿児島県立鹿屋工業高等学校）
九州電力川内原子力発電所展示館を見学し、原子力・放射線の学習に活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 1,059,360 円
交付金充当額 1,059,360 円

6. 交付金事業の成果及び評価

・当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒の理解が促進された（深まった）と回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 100%に対して実績 100%、施設見学事業が目標 100%に対して実績 100%であった。

・実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、機材に直接触れて、大きさを確認することで、視覚障害のある児童生徒が、見ることのできないエネルギーの大きさについてイメージをつかみやすく、数値との関係性に気付くことで、その後のエネルギー収支について理解を深めることができた。

また、施設見学事業を実施したことにより、「電力技術」では各種発電方法について学習するが、展示館での説明や実際の発電所を見学することで、授業の内容について教科書の内容だけでは分からない原子力発電所の具体的な安全対策や発電所に関わる全ての職業において、非常に高い意識で働かれている様子等について理解を深めることができた。

- ・原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 100%に対して実績 100%、施設見学事業が目標 100%に対して実績 100%であった。
- ・本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として、実験器具・実験材料の整備事業、施設見学事業が促進されたと評価できる。